

各団体からの意見・市への提案

群馬建築士会伊勢崎支部

青年部副部長 園部 泰士 様

【意見】

昨年末、自宅近くの高齢者が施設に入所し、住んでいた家が空き家となりました。現在、伊勢崎市内では一戸建て住宅7軒から8軒のうち1軒は空き家であるというデータが出ています。近隣宅で実際に空き家が発生し、こうして増えていくのかと実感したところです。

活用できる空き家は、「空き家情報バンク」などで空き家を利用したい人が見つけやすい仕組みを検討する必要があると思います。また、空き家の所有者が投資として空き家を改修し、賃貸物件としての価値を創出することにも可能性を感じています。

建築士としては、将来を見据えて家を建てるということに課題を感じます。新しい建物を設計し建設しているものの、同時に40年、50年後の空き家も生み出しているのではないかと思います。

【市への提案】

- ・「空き家情報バンク」などで空き家を検索しやすい仕組みを作る
- ・所有者が投資として賃貸物件の価値を創出するための議論をする